

北海道博物館 文化の日講演会2018

近世初期における日本人の地理認識の転換

ヨーロッパ人の来航、豊臣秀吉による朝鮮出兵を契機として、日本人の地理認識は大きく拡大、転換します。この講演では、シリーズ日本近世史①『戦国乱世から太平の世へ』（岩波新書）など数々の著作で知られる歴史学者・藤井讓治さんをお招きし、その様相を、朝鮮に渡った人々の手紙や、同時代に作成された日本図屏風・世界図屏風などによって語っていただきます。また、その過程で「エゾ」が、どのように現れ、また描かれたかについても言及していただきます。



講師

藤井 讓治 氏 (京都大学名誉教授)

プロフィール

1947年、福井県小浜市生まれ。京都大学文学部史学科を卒業後、同大学院文学研究科へ進み、京都大学助手、神戸大学助教授、京都大学助教授・教授・大学院文学研究科科長・文学部長・文書館館長・図書館機構長・附属図書館館長などを経て、2012年より現職。2014年より石川県立歴史博物館館長。

【主著】

- 『江戸幕府老中制形成過程の研究』（校倉書房、1990年）
- 『日本の歴史 12 江戸開幕』（集英社、1992年）
- 『徳川家光（人物叢書）』（吉川弘文館、1997年）
- 『江戸時代の官僚制』（青木書店、1999年）
- 『幕藩領主の権力構造』（岩波書店、2002年）
- 『徳川将軍家領知宛行制の研究』（思文閣出版、2008年）
- 『天皇の歴史 5 天皇と天下人』（講談社、2011年）
- 『日本近世の歴史 1 天下人の時代』（吉川弘文館、2011年）
- 『戦国乱世から太平の世へ（シリーズ日本近世史 1）』（岩波書店、2015年）

参加
無料

2018年

開催日時

11月3日 土

13:30～15:30

会場

北海道博物館
講堂

定員：80名（先着）

道民カレッジ連携講座：教養コース2単位／ジュニアコース1単位
事前申込：10月4日（木）よりお電話にて受付します